(旧)梅田貨物駅の百済貨物ターミナル駅への移転に伴う周辺環境への影響について

平成26年3月

(旧)梅田貨物駅の百済貨物ターミナル駅への移転に伴う周辺環境への影響について

1．現地調査地点及び調査実施時期

図1　現地調査地点

表1　大気汚染及び騒音・振動の調査実施時期

時　期		期　間	
		大気汚染	騒音・振動
平成11年度		平成11年10月8日(水)～11月7日(火)	平成11年10月21日(木)～10月22日(金)[24時間]
平成17年度		平成18年1月25日(水)～2月28日(火)	平成18年2月1日(水)～2月2日(木)［24時間］(鉄軌道騒音･振動は、平成18年2月2日(木)［18時間］)
平成24年度	春季	平成24年4月26日(木)～5月30日(水)	平成24年5月16日(水)～5月17日(木)［24時間］
	夏季	平成24年7月19日(木)～8月22日(水)	平成24年9月4日(火)～9月5日(水)［24時間］
	秋季	平成24年10月18日(木)～11月21日(水)	平成24年11月20日(火)～11月21日(水)[24時間]
	冬季	平成25年1月17日(木)～2月20日(水)	平成25年1月23日(水)～1月24日(木)［24時間］
平成25年度	春季	平成25年4月25日(木)～5月29日(水)	平成25年5月21日(火)～5月22日(水)［24時間］
	夏季	平成25年7月29日(月)～9月2日(月)	平成25年8月27日(火)～8月28日(水)［24時間］
	秋季	平成25年10月24日(木)～11月27日(木)	平成25年11月26日(火)～11月27日(水)[24時間]
	冬季	平成26年1月9日(木)～2月13日(木)	平成26年1月21日(火)～1月22日(水)［24時間］

2．大気汚染の現地調査結果

大気汚染に係る環境基準は、以下に示すとおりであり、長期的評価では、１年間の測定を通じて得られた一日平均値のうち年間 98％値（浮遊粒子状物質の場合は年間２％除外値）と環境基準との比較により評価します。

大気汚染の現地調査は、四季調査であるため、環境基準と直接は比較できませんが、調査結果は、平成 11 年度から平成 25 年度にかけて、ほぼ横ばいで推移しています。

＜大気汚染に係る環境基準（長期的評価）＞
・二酸化窒素：１時間値の１日平均値が 0.04～0.06ppm のゾーン内又はそれ以下であること。
・浮遊粒子状物質：１時間値の１日平均値が 0.10mg／㎥以下であること。

◇ 百済駅構内における大気汚染

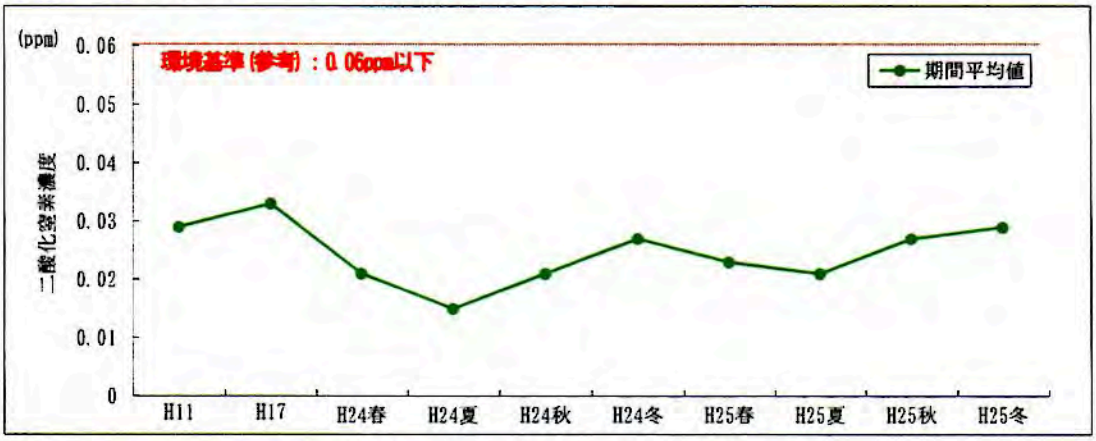


図２(1)　二酸化窒素濃度の測定結果（百済駅構内）

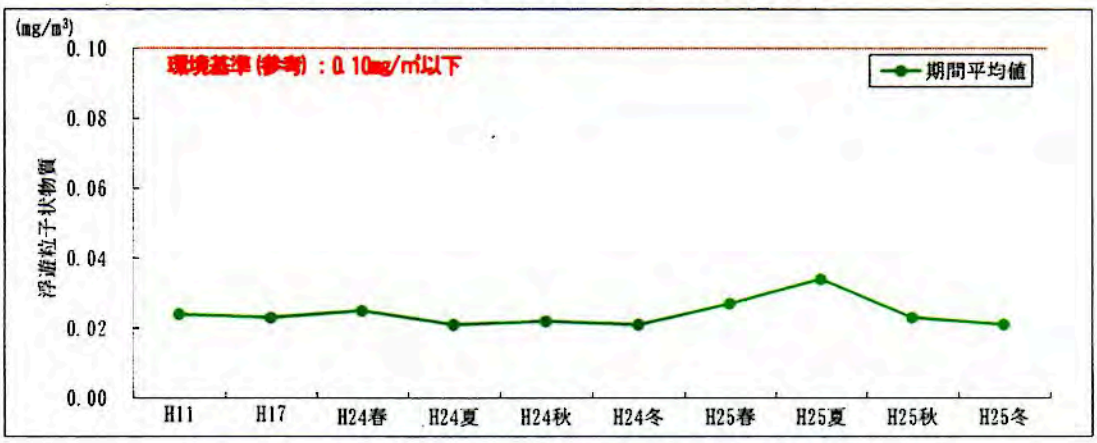


図２(2)　浮遊粒子状物質濃度の測定結果（百済駅構内）

◇ 道路沿道における大気汚染

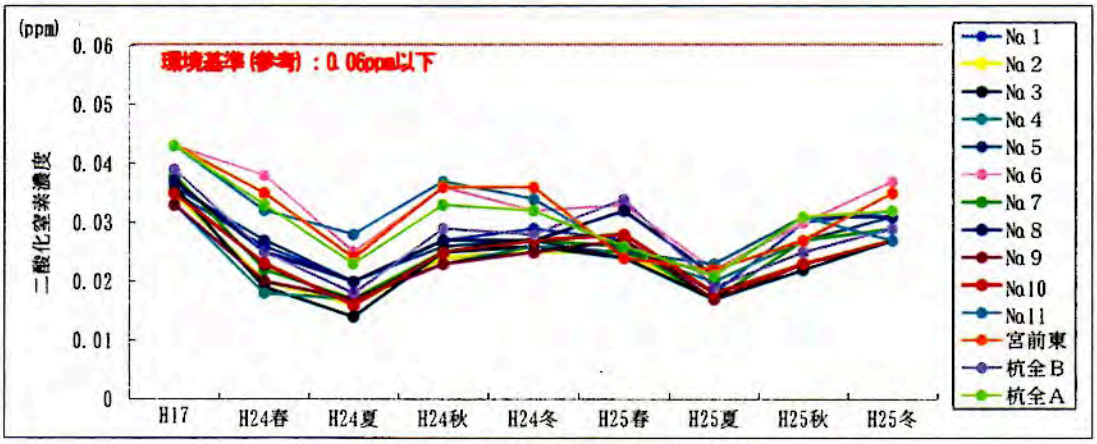


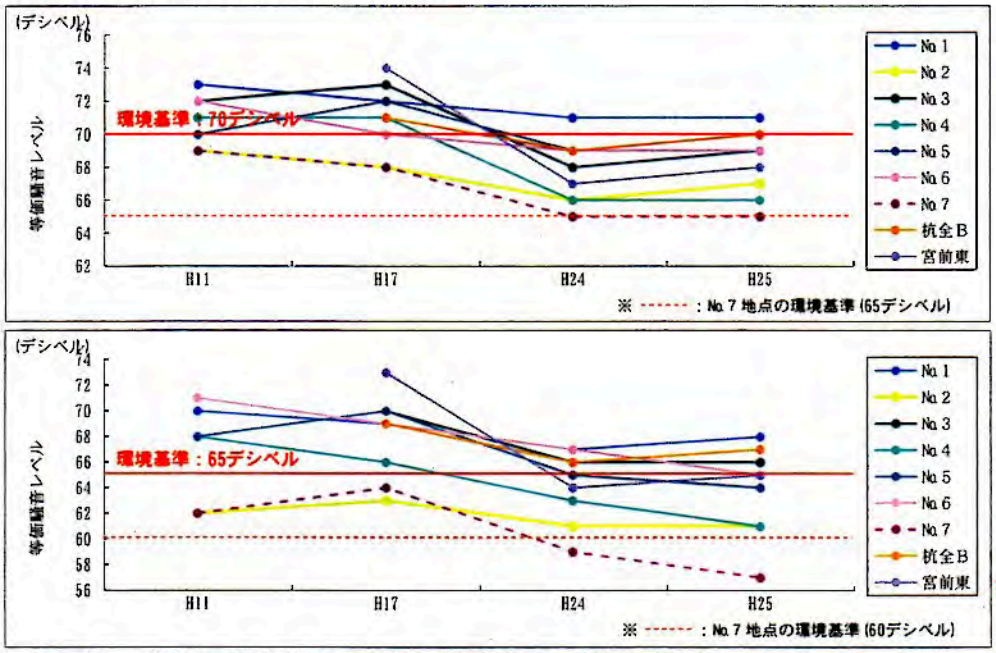
図２(3)　二酸化窒素濃度の測定結果（道路沿道）

3．騒音の現地調査結果

◇ 貨物関連自動車の走行に係る騒音

平成 25 年度の調査結果は、環境基準を超過している地点がありますが、開業前より環境基準を超過しており、平成 11 年度の調査結果以下となっています。

また、昼間・夜間ともに平成 24 年度の調査結果と同程度となっており、環境基準の超過は、JR 貨物関連自動車の走行が主要因ではないものと考えられます。



※No.7 地点の環境基準は、昼間 65 デシベル、夜間 60 デシベルである。

図 3 (1)　貨物関連自動車の走行に係る騒音の測定結果（上：昼間、下：夜間）

◇ 貨物関連施設の稼働に係る騒音

平成 25 年度の調査結果は、環境基準を超過している地点がありますが、開業前より環境基準を超過しており、昼間・夜間ともに平成 24 年度の調査結果と同程度となっています。

このことから、環境基準の超過は、JR 貨物関連自動車の走行が主要因ではないものと考えられます。

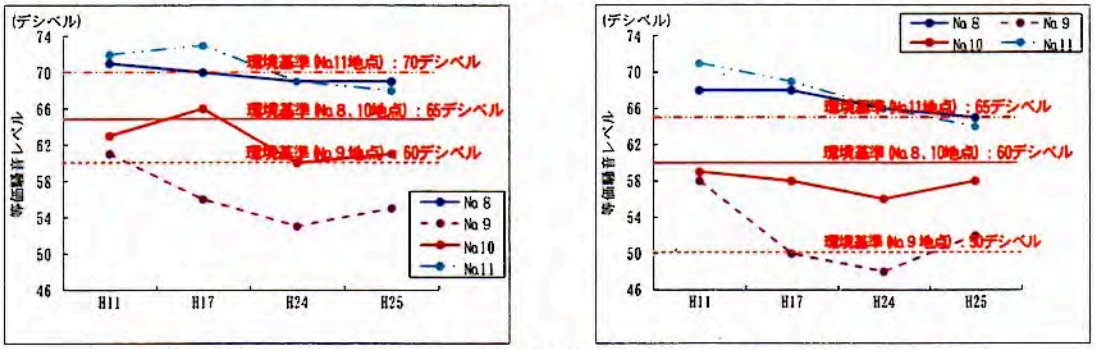


図 3 (2)　貨物関連施設の稼働に係る騒音の測定結果（左：昼間、右：夜間）

◇ 貨物列車の走行に係る騒音

平成 25 年度の調査結果は、平成 24 年度の調査結果と比較して昼間・夜間ともに増加しており、梅田貨物駅より移転した列車の影響があるものと推測されますが、昼間・夜間ともに指針値以下となっています。

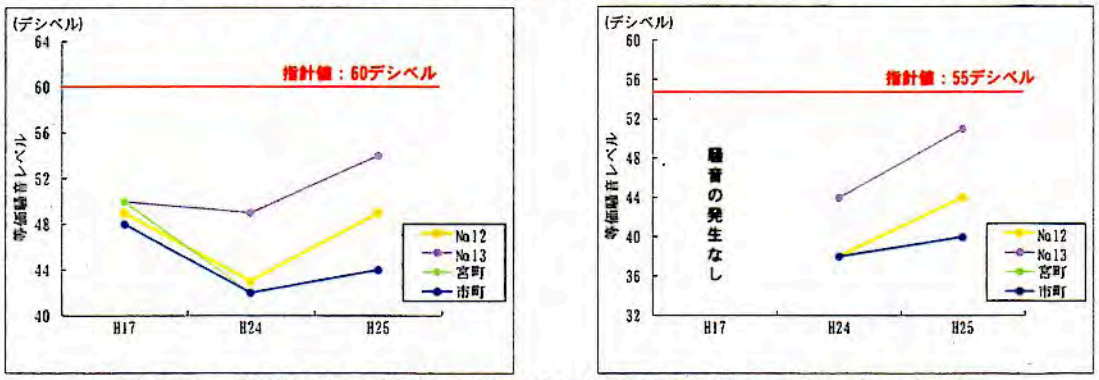


図 3 (3)　貨物列車の走行に係る騒音の測定結果（左：昼間、右：夜間）

4．振動の現地調査結果

平成 25 年度の調査結果は、いずれの地点も平成 24 年度の調査結果と概ね同程度となっており、要請限度等を下回っています。

◇ 貨物関連自動車の走行に係る振動

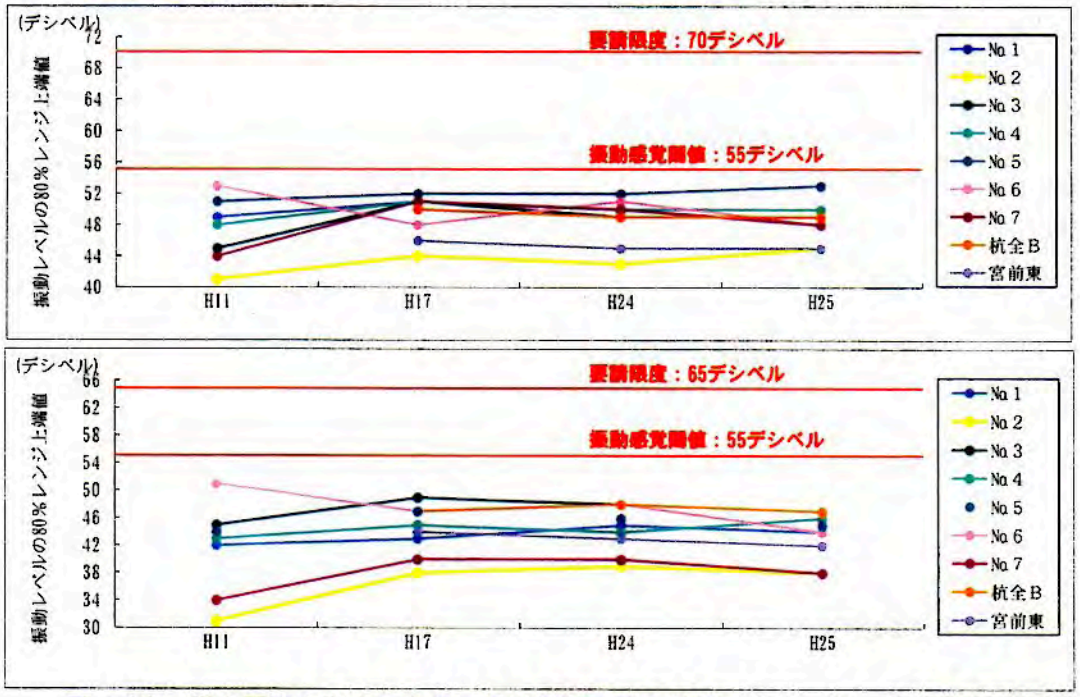


図 4 (1)　貨物関連自動車の走行に係る振動の測定結果（上：昼間、下：夜間）

◇ 貨物関連施設の稼働に係る振動

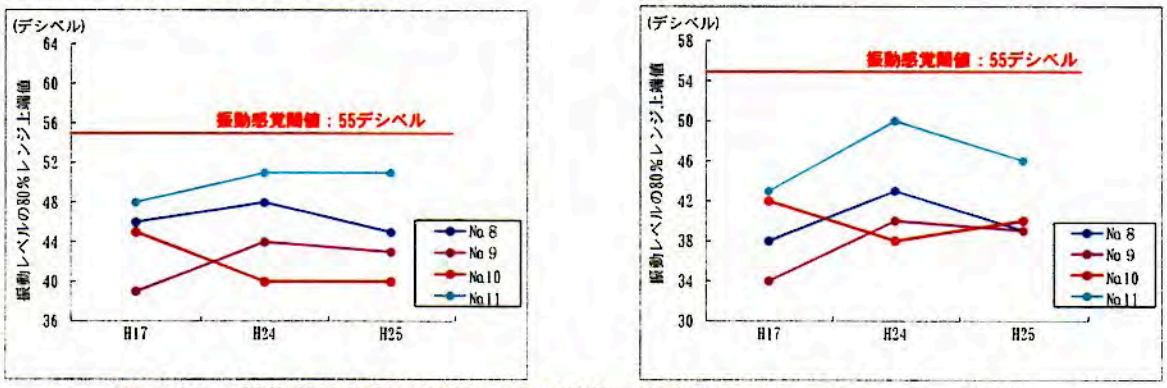


図 4 (2)　貨物関連施設の稼働に係る振動の測定結果（左：昼間、右：夜間）

◇貨物列車の走行に係る振動

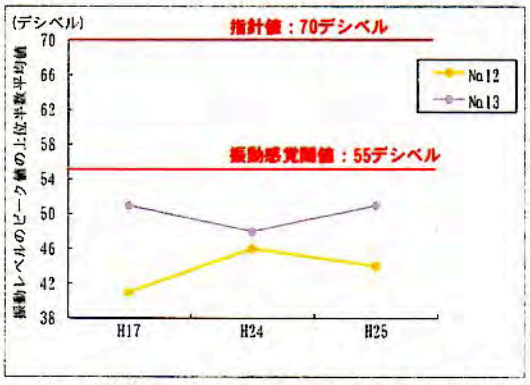
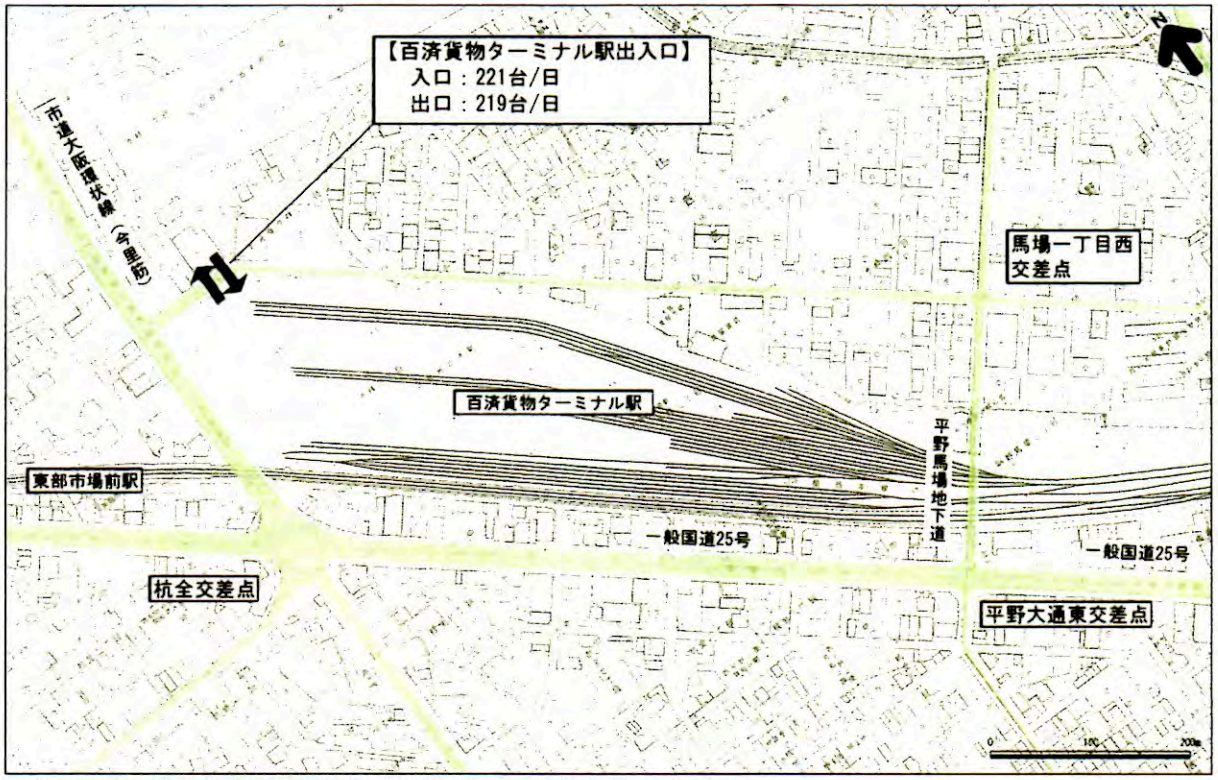


図 4 (3)　貨物列車の走行に係る振動の測定結果

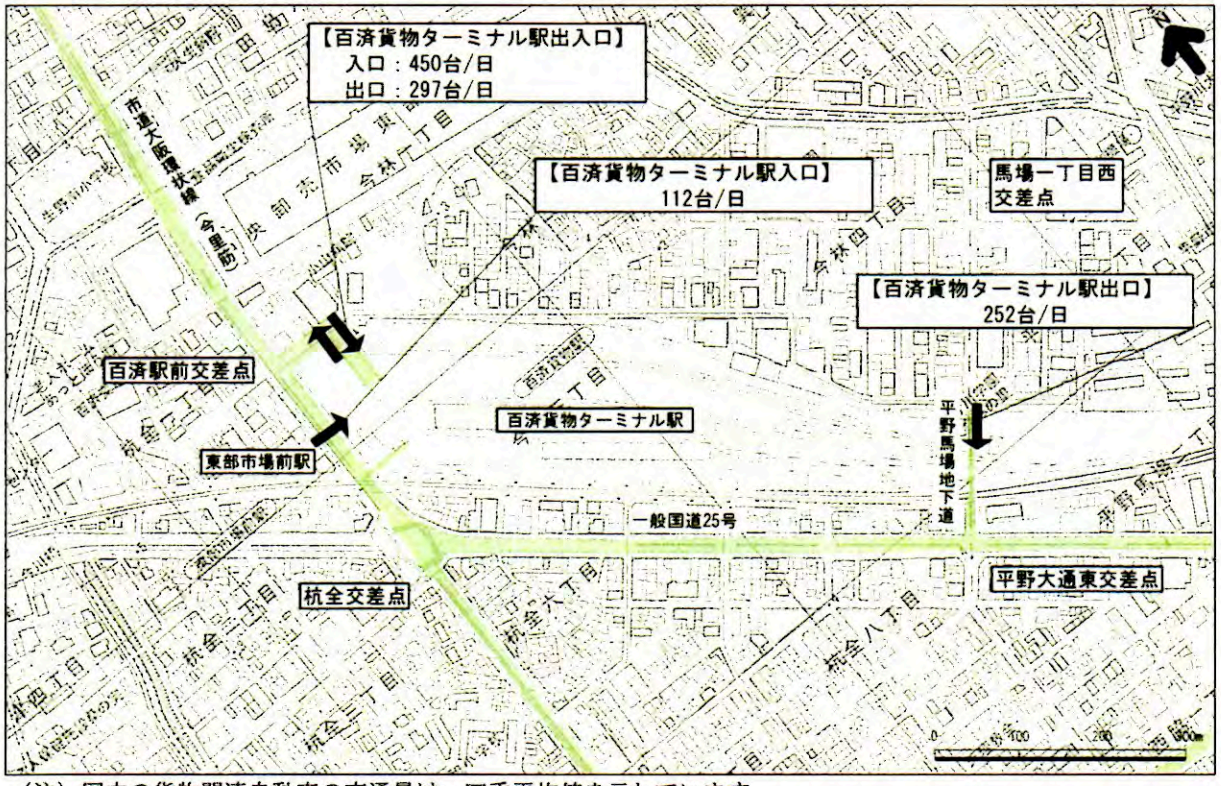
5．貨物関連自動車交通量の現地調査結果

貨物関連自動車の交通量（四季平均）は、平成 24 年度では 440 台／日、平成 25 年度では 1,111 台／日（百済貨物ターミナル駅出入口：747 台／日、駅入口：112 台／日、駅出口：252 台／日）となっています。



（注）図中の貨物関連自動車の交通量は、四季平均値を示しています。

図 5 (1)　貨物関連自動車の交通量調査結果（平成 24 年度）



（注）図中の貨物関連自動車の交通量は、四季平均値を示しています。

図 5 (2)　貨物関連自動車の交通量調査結果（平成 25 年度）